

よりどころ

～小空間が生み出す安らぎの空間～

指導教員 吉松秀樹教授 印

2BEB2229 葛城 麻耶

1. 問題意識__よりどころ

こどもの頃、狭いところに入ると安心感があつた。この感覚はこどもだけでなくおとなになっても人は狭いところを好み、そこに落ち着く。どのような狭いところに人は安心感を得てその場所を拠り所と感ずるのだろうか。(fig.1)

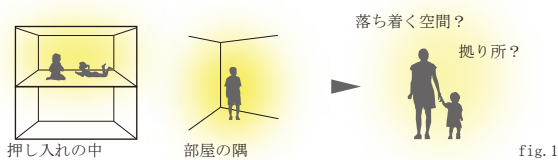


fig.1

2. 調査__小空間について

学校建築や保育園、幼稚園建築の中で、こどもにとって広々としたオープンな空間が必要とされてきた一方、こどもの精神的な拠り所になり、安心感を与えるための小空間が設けられている。

①ニッチ：厚みのある壁をえぐって作ったくぼみ。壁厚の範囲内に作られ、背面に突出しない。

②アルコーブ：部屋や廊下などの壁面の凹所。語源はアーチを意味するアラビア語。マンションにおいて共用廊下から壁を少し後退させた部分。

③デン：書斎や趣味を楽しむための小部屋。広さや形状の明確な定義はない。野生動物のねぐら、巣穴という意味もあり、安心感を与えるような小空間のことを言う。(fig.2)(fig.3)(fig.4)



fig.1 ニッチ

fig.2 アルコーブ

fig.3 デン

3. 分析__小空間で行われる行動

「学校建築における小空間（デン）の使われ方に関する研究」（長澤悟・吉田将史）によるとデンは落

ち着きの効果が見られる一方、閉鎖性の高く狭い空間では、こどもはむしろ活発に動いているという結果がある。そこからこどもにとって小空間は身体的に落ち着くだけでなく、精神的に居心地がよいと感じ思いっきり遊ぶことができるのではないだろうか。



fig.5

fig.6 岩江小学校

こどもに有効活用されている一方で、教員の視線では監視の行き届かなさ、大人にとって入りづらさであることが問題となっている。

4. 提案__狭い空間を囲わずにつくる

アルコーブやデンのように囲われている空間は安心感があり拠り所となるだろう。そこで囲わずにつくる拠り所を提案する。(fig.7)(fig.8)

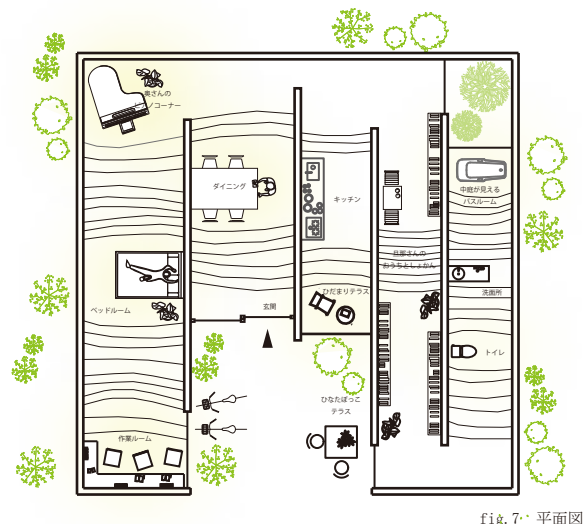


fig.7 平面図

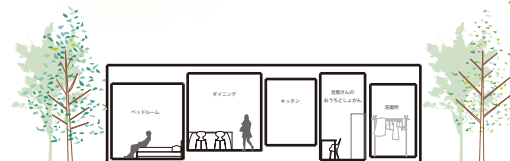


fig.8 AA' 断面図